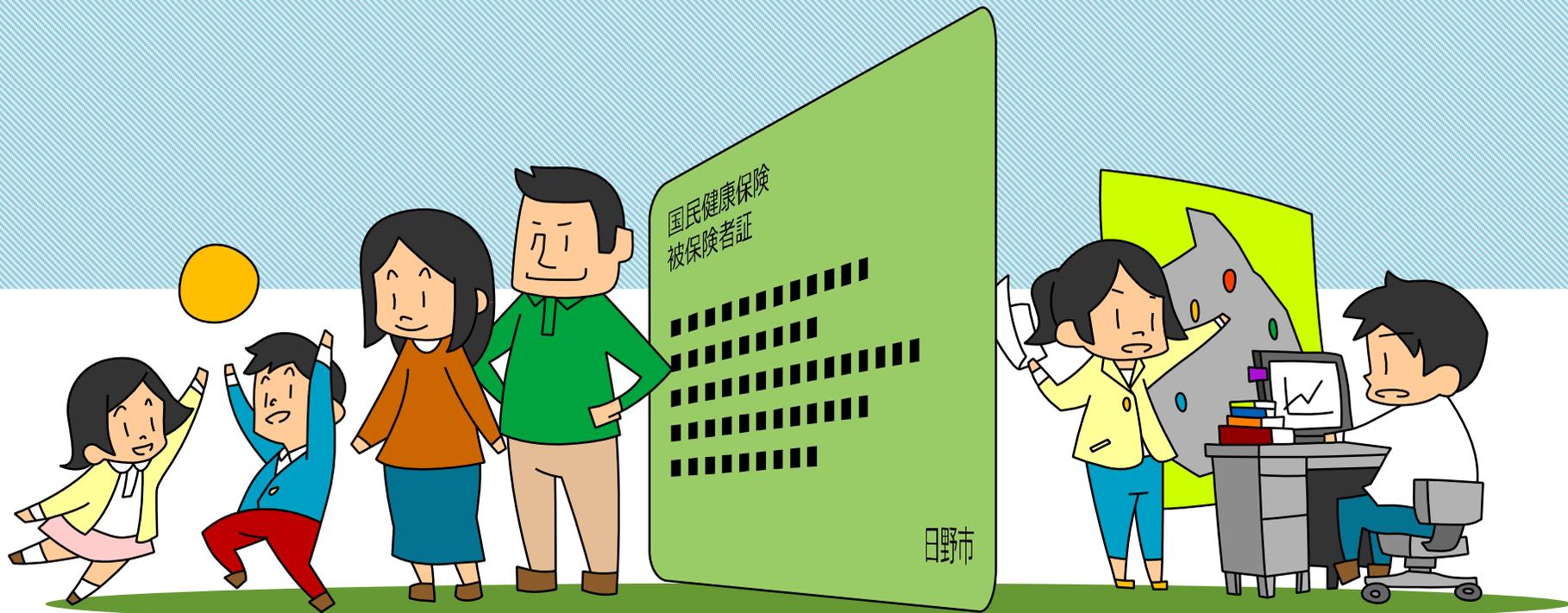


# 東京都日野市の 糖尿病予防の取り組み



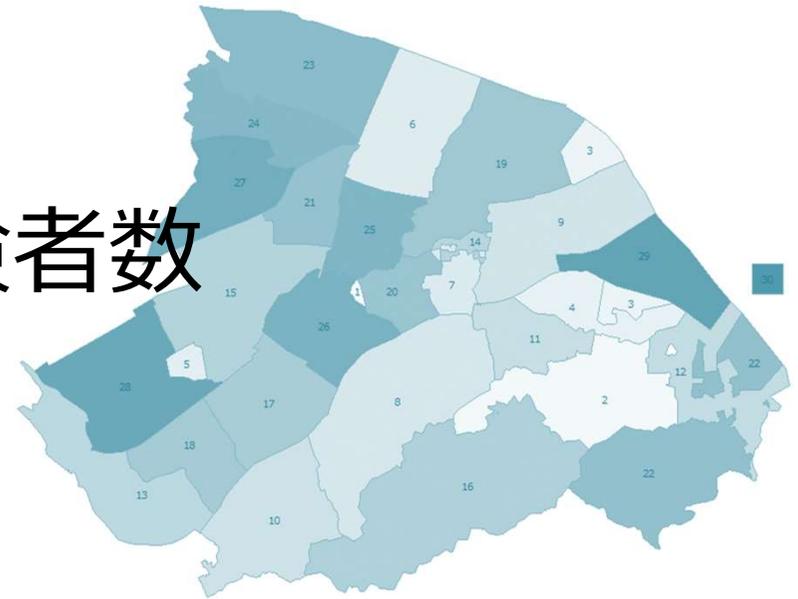
# 東京都日野市の現状

人口 (令和3年12月1日現在)

187,307人

うち、国民健康保険被保険者数

34,672人 (人口の約19%)



人工透析患者の  
一人当たり年間医療費

**約531万円** (令和2年度)



# 特定健診受診勧奨

## 特定健診受診勧奨

ハガキ・自動音声電話による **2パターン** での受診勧奨

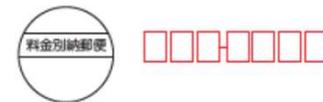
ハガキによる勧奨後の対象者受診率

: **13.4%**

電話による勧奨後の対象者受診率

: **17.7%**

※令和2年度実績



# 医療機関受診勧奨

## 医療機関受診勧奨

ハガキ・保健師による電話による **2パターン**での受診勧奨

**ハガキ**による受診勧奨：

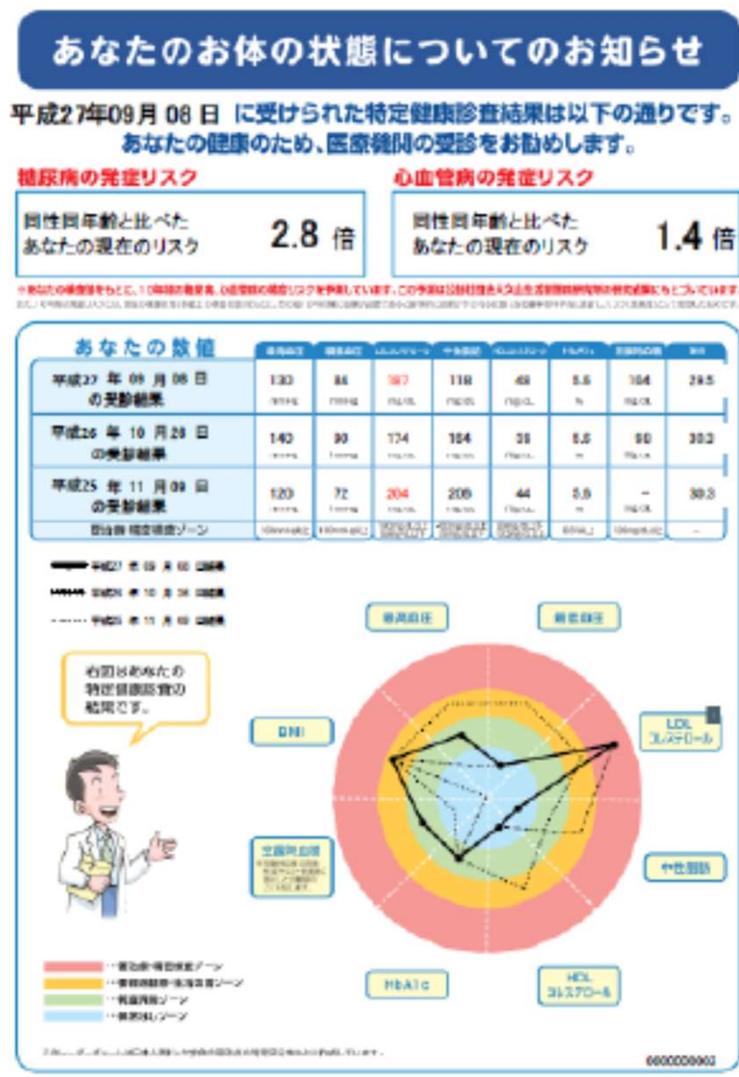
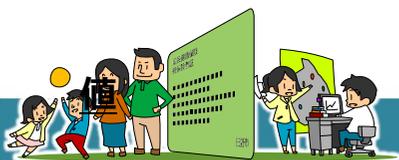
グラフを用いた視覚的にわかりやすい内容で、同性同年齢に比べた発症リスクを表示し、受診を勧奨する。

**保健師**による電話勧奨：

一人一人の状況に寄り添った適切な受診勧奨を行う。

勧奨後対象者受診率 **9.3%**

※令和2年度・ハガキ・電話合算



# 微量アルブミン尿検査 その1

## 微量アルブミン尿検査

・健診で異常値がない方を対象に、「アルブミン」の値を測定するための尿検査

### 検査実施基準

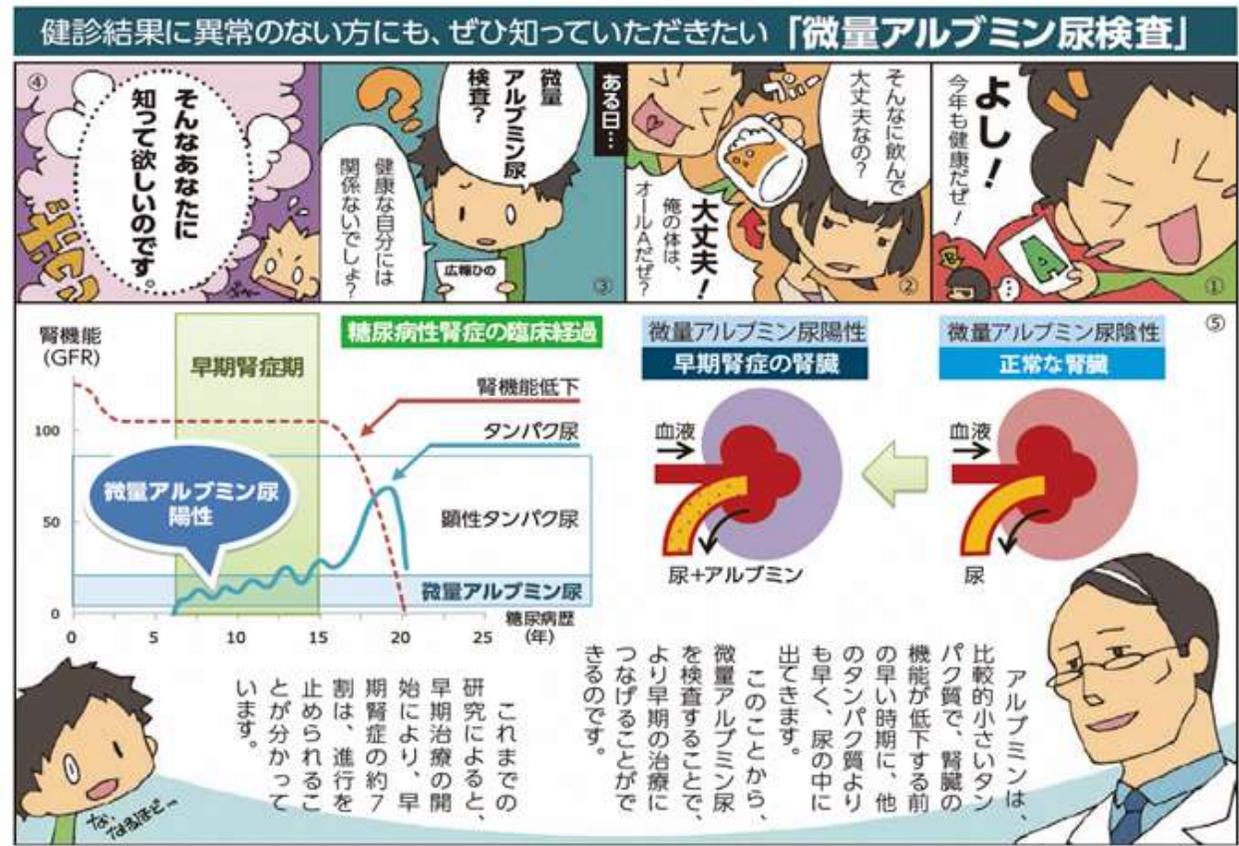
前年度の健診結果にて、

(1)HbA1C: 6.0以上

(2)尿蛋白: -もしくは、±

※いずれも、本来は健診異常値ではない。

・「アルブミン」は腎機能低下の予兆であり、これを検査し、陽性者に受診を勧奨することで、**早期の治療が可能。**



# 微量アルブミン尿検査 その2

## 微量アルブミン尿検査の特徴

### 尿自動分析装置を市から検査実施医療機関へ貸し出し、検査精度を維持：

市が、検査に係る機器を一括リースし、それを医療機関へ貸し出すことで、どの医療機関でも同等の検査が可能。また検査結果は即日で判定可能。

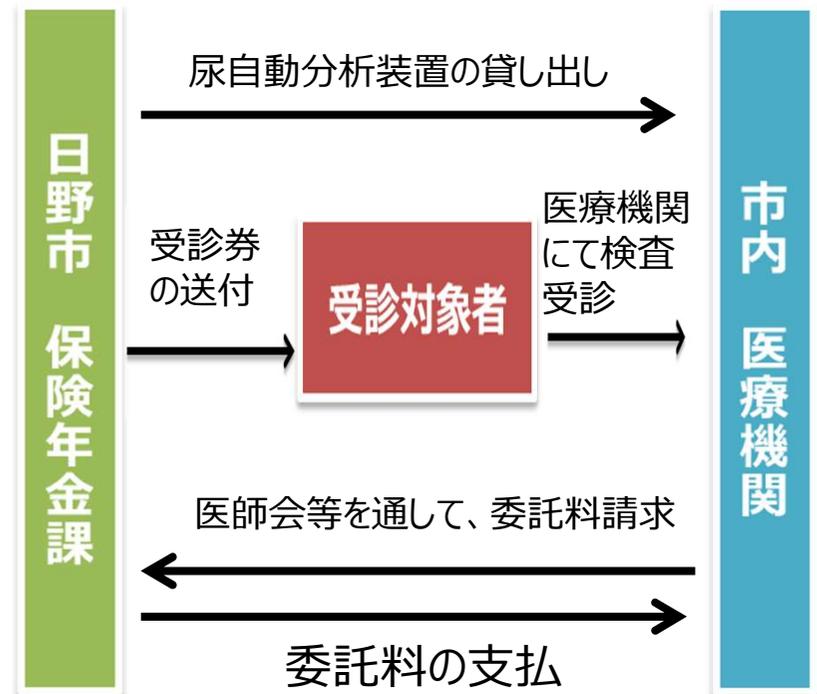
### 特定健診と同時受診可能：

機器を特定健診を実施している医療機関へ貸し出し、尿検査の受診券を、特定健診受診券と同時期に送付することで、特定健診と同時受診が可能に。高い検査受診率を達成！！

### 令和2年度受診率

特定健診 43.7%

アルブミン尿検査 60.1%



# 微量アルブミン尿検査 その3

## 微量アルブミンの実施結果

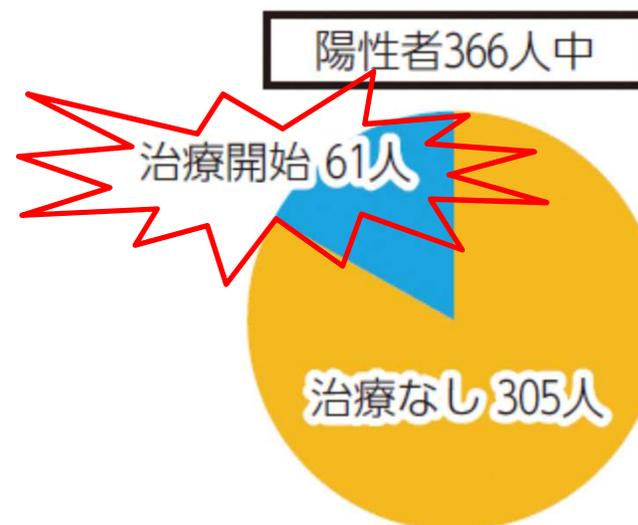
検査を受けた**約三割**の方が、陽性者（微量アルブミン尿・もしくは、顕性たんぱく尿）。

令和2年度では、陽性者366人のうち、61人が実際に、早期治療を開始。

本来、医療の介入の入らなかった61人について、医療につなげることができた。

令和2年度微量アルブミン尿検査結果（受診者1,493人）

異常なし 1,127人(77.5%)	微量アルブミン 328人(22.0%)	顕性たんぱく尿 38人(2.5%)
-----------------------	------------------------	----------------------



## 微量アルブミン尿検査 その4

- 目に見えた医療費の減少につながっていない。
- 検査実施後の治療介入において統一的なマニュアル等が整備されていない。



ご清聴ありがとうございました。

## 日野市の糖尿病予防の取り組み

令和4年1月20日  
日野市市民部保険年金課

